

## 平成14年度臨時（第1回）理事会議事録

日 時 平成14年4月6日（土） 10:30～16:30

場 所 岸記念体育会館401会議室

出席理事（敬称略、順不同）:

山崎達光（委任：戸田邦司）、井手正敬（委任：戸田邦司）、小田切満寿雄、戸田邦司、  
松本富士也、小田泰義、栗田栄一郎、高橋順一、岩田直幸、栗原博、斉藤威、清水昭  
（委任：秋山雄治）、鈴木保夫、富田稔、戸張房子、名取正精、浪川宏、平賀威（委任：  
富田稔）、広瀬興郎（委任：秋山雄治）、松田健次郎（委任：戸田邦司）、三井祥功（委任：  
浪川宏）、倭千鶴子、池田栄宏（委任：富田稔）、福田義一（委任：富田稔）、昇隆夫、都築  
勝利、水谷益彦、中山明、岩田行史（委任：戸田邦司）、石崎五一郎（委任：秋山雄治）、  
西原敏文、古谷正宏、秋山雄治

以上、33名、内委任状11名

欠席監事：石崎忠朗、青淵隆督

以上、2名

オブザーバー：武村洋一事務局長、末木創造レース委員長、川北達也ルール副委員長

### 議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事33名、出席者33名（内委任状11名）により、寄附行為第29条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立。

（議長による開会宣言）

山崎達光会長が病気療養中のため、寄附行為第19条に基づいて戸田邦司副会長が議長となり、平成14年度臨時（第1回）理事会の開会を宣言。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により、秋山雄治・都築勝利の両理事が任命された。

### < 議案事項 >

#### （1）JSAF職員退職金規則について

他の業種や公務員一般の基準よりかなり劣ってきている連盟職員退職金乗率についての改定の議案が中山理事から提出された。連盟都合による退職の場合、その乗率が本改定案に示されていないが、連盟はむしろその理由によって会長判断が加味され、加算されることとする旨の確認の上、承認された。

#### （2）日本財団助成事業委託先

秋山理事が委託先（案）の選考理由について、教職員指導者養成講習会は、将来学校の授業にセーリングが採用されることを意識したこと。ファミリーレースについてはフラッグリレーとの関連を優先したことを説明。それに対してファミリーレース委託先9ヶ所のうち、新潟と大阪についてはフラッグリレーイベントとの関連性

がないとの指摘がなされたために保留とし、その他は承認された。新潟・大阪の代替場所は早急に決定する。適当な代替場所がなければそのままとすることになった。

### (3) 国際29er級JSAF加盟について

本件は29erクラス協会準備会(重由美子会長・事務局斉藤愛子)から提出された加盟願い申請書を審議した。

旧日本ヨット協会からの運営規則を暫定案として引き継いでいる、艇種別協会の条件 1)所属艇(登録艇)が25艇以上であること 2)所属会員が50名以上であること、を満たしていないという理由で昇理事から反対意見が提出された。松本副会長など、世界における29erの位置付け、将来性などを判断して認めたいとする意見に分かれた。現在のすでに加盟している艇種別特別加盟団体が実態上規則の条件にあっているのかも含め調査し、近い将来特別加盟団体の連盟への加入条件を、再検討する必要があるとの意見について理事会の一致を見た。よって今回の国際29er協会準備会の申請は却下することとする。しかし、クラブ等の団体としての加盟を検討してみてもどうかとの、アドバイスを申請者におこなってみることとする。また、特別加盟団体(艇種別)としての要件を満たし、あらためて申請があればその加盟について検討することとなった。艇種別加盟団体の調査、特別加盟団体の加盟の条件などの提案は総務でまとめて出来る限り早く常任委員会を經由し理事会に提出することで了解された。

### (4) 外洋艇登録細則について

細則について富田理事より資料説明がなされ承認された(平成14年4月1日発効)。旧セールナンバーの使用については所定の料金を支払って使用できることとするが4月からの施行には無理があることから平成14年9月1日よりの施行で承認された。(県連などの加盟団体については、全く新しい業務であり至急配布すること。)

### (5) 広報委員長・副委員長交代について

委員長 青山 篤 から 大山俊哉

副委員長 新村明義 から 柳澤康信

以前から計画的に交代のための準備が進められており、なんらの支障は無いとの委員長の説明であり、出席の浪川副委員長の確認の下に承認された。

### (6) 事業開発委員長後任者について

宇野孝委員長の辞任に伴う後任者の候補として、宇野委員長推薦の前川清氏と広瀬理事推薦の川副愛生氏について3人の副会長の面接の結果などもまじえて審議されたが、当面現副委員長の平賀威理事を委員長代行とし、両氏には委員として参画協力してもらうこととし、時期をみて後任委員長を決めることになった。

### (7) 計測委員会副委員長・チーフメジャーの任命について

計測委員会から

副委員長兼外洋小委員会委員長に柏元孝博氏

ORC チーフメジャーに平岡俊一郎氏  
の推薦があり、承認された。

**( 8 ) 評議員の変更について**

日本ジュニアヨットクラブ連盟から同連盟選出の評議員を 安井清氏 から  
中根健二郎氏 に変更する届出があり、承認された。

**( 9 ) 大会共同主催・後援願いについて**

アンデルセン・デンマークカップ 広島県連との共同主催  
第 1 0 回国際親善セーリングフェスティバル(八景島マリーナ)後援  
上記 2 件の申請があり、承認された。

**(10) 鳥羽パールレース共同主催申請について**

J S A F 外洋東海・J S A F 外洋湘南との共同主催申請が承認された。

**< 報告事項 >**

**( 1 ) 保険契約内容の変更について**

資料により富田理事が説明、外洋系の主催者賠償責任保険は捜索救助費用が担保され  
ないこと。J系の総合賠償責任保険は、死亡後遺症保険金額を 1 , 0 0 0 万円に  
据え置くことで従来の保険料 5 5 0 円が 6 4 0 円に値上げされること、またそうし  
たときの予算措置についての確認がなされた。

**( 2 ) JSAF 全日本運営規則(案)**

末木レース委員長からディングー系および外洋艇の全日本選手権運営規則について  
の報告があった。第 4 条のグレード分けをどのように使うかの説明を次回理事会で  
説明することとなった。

**( 3 ) ヤードスティックナンバー 2 0 0 2 の発行について**

松本理事よりヤードスティックナンバーオブザーバー・グループ広田喜世人氏作成  
の資料が提出され、今後のレースの結果を蓄積しさらに精度を高めていくという方  
針が示された。

**( 4 ) 平成 1 4 年度 J O C 事業計画関連について**

松本理事より J O C による各競技団体の評価基準が示され、競技実績、指導育成、  
アンチ・ドーピングの取り組み、J O C との協調などがポイントで評価されることが  
報告された。

**( 5 ) 加盟団体負担金未収金について**

鈴木理事より別表によって加盟団体負担金未集の報告があり、1 3 年度決算に未集  
金計上すること。他費目または還付金と相殺できるものについては 1 4 年度に処理  
する。その他はより一層の回収努力をすることが確認された。

**( 6 ) 団体名の変更・会長の就任について**

大分県ヨット連盟が大分県セーリング連盟に名称を変更する。また、同連盟

会長に中村太郎氏（大分中村病院長）が就任することが報告された。

**（ 7 ） 13年度末メンバー登録状況**

前年度比262名減。ただし、奈良県・徳島県は入金された分の明細報告がないため、又、京都府25名・滋賀県1名・千葉県3名については未入金のためメンバー登録数として計上されていない。

**（ 8 ） 平成13年度通常（第4回）理事会議事録（案）**

前回の理事会議事録（案）は、すでに議事録署名人からは承認されていることが報告された。

**（ 9 ） その他**

2003年ISAF年次総会の誘致について、シンガポールに決定した。京都は落選した。連盟から京都のISAF招致に働いた代表者に対しご挨拶状を送る必要があること。

会員増強推進計画の発表 15%UPを目標とする。

参議院議員・慶応義塾大学ヨット部OB 竹山 裕氏の顧問案については寄附行為による資格(連盟役員経験者)がなく、参与としての就任を打診することになった。

**< 協議事項 >**

**（ 1 ） 理事選出について**

小田専務理事より、理事選出日程・次期会長選出手続き等の確認がされ、次回理事会に整理して再検討することとなった。

**（ 2 ） クラブ等の団体の特別加盟団体への加盟について**

細則が議論され最低人数20名とすること、又文言修正をした上で至急現在の登録団体、ならびに各水域クラブに送付されることになった。

以上

平成14年度臨時（第1回）理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成14年4月6日

議 長 副 会 長 戸 田 邦 司

議事録署名人 理 事 秋 山 雄 治

議事録署名人 理 事 都 築 勝 利